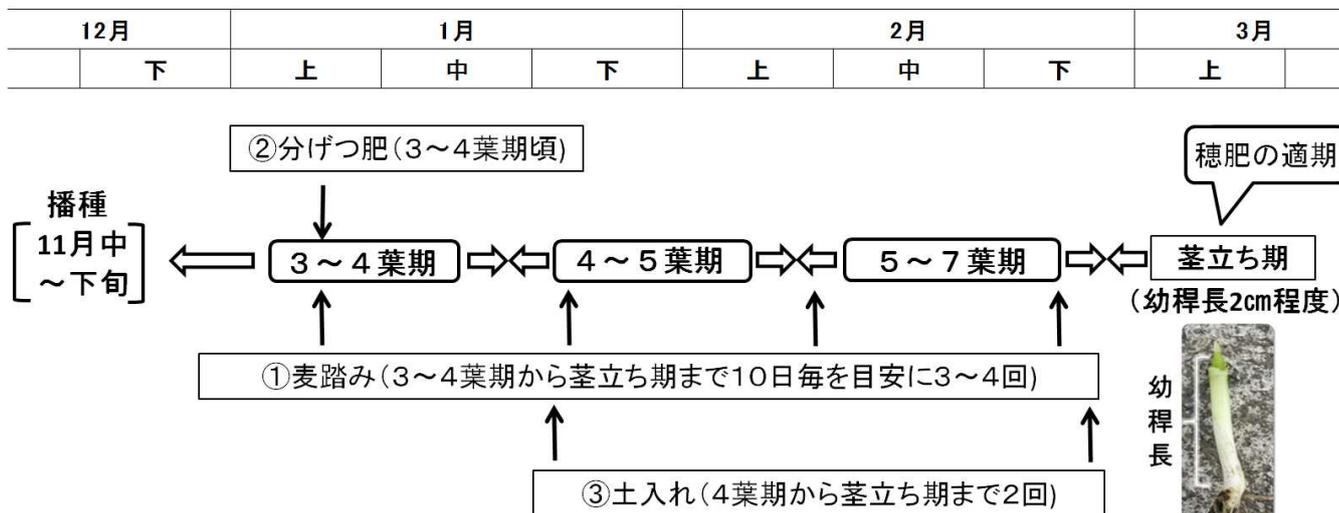




増収に向けた播種後の管理

管理作業は計画的に！

★ 2月までの管理スケジュール(イメージ)



①麦踏み

植物が傷つくことで寒さや乾燥に強くなり、生育がそろい、分げつが増え、倒伏防止効果もあります。

なお、暖冬年や早播きの場合、早期茎立ちを防ぐため、1~2回多く行います。

※土壤水分が多いと、土が絞まり、麦の生育が抑制されるため、靴に土が付かない程度乾燥した時に行いましょう。

②分げつ肥

穂になる茎も増やし増収させます。また、タンパク含有率向上も期待できます。3~4葉期(1月)に窒素成分で2kg/10a施用しましょう。

③土入れ

倒伏防止のほか、無効分げつをおさえる効果があります。

排水対策、除草対策にもなります。

1回目は、生育を押しさえすぎないため、軽めに行います。

2回目は、倒伏防止、凍霜害予防のため、強めに行いましょう。

播種後も排水対策を徹底！

排水が悪いと麦の生育に悪影響を与えるほか、適期作業も困難になります。雨が降ったらほ場を確認し、停滞水がある場合、クワで排水溝を連結するなど早期排水に努めましょう！



停滞水を見つけたらすぐに排水対策！